

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成24年度第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成24年6月8日（金） 14:00～15:00
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会長 小林正敏 副会長 渡辺哲朗 委員 桜井幹夫、池谷 朗、村松一博、秋山和久、佐藤正基、寺島雅之、安藤房己、秋原恭大、家本 勲、松村英行、仲田和好、鈴木福一、藁品元行、田口敏行、井田久義、渡邊芳隆、尾針周一（代理）、 委任状出席 松尾敏郎、吉野泰史、梅津敏弘</p> <p>オブザーバー 静岡県商業まちづくり室 地域産業課長兼まちづくり室長 浅山 肇 " " 主査 益田奈有美 " 都市計画課 主査 丸山幸治 中小企業基盤整備機構 地域振興課 高橋紗代 藤枝駅前商店街振興組合 理事 北島 毅</p> <p>(藤枝市) 藤枝市中心市街地活性化推進室 室長 秋田弘武 " 係長 渡邊章博 " 主任主査 岡村敏明 藤枝市産業政策課 課長 梅原 仁 商業観光課 係長 紅林 豊 主任主査 青嶋和徳 (藤枝商工会議所) 事務局長 杉浦 衛 課長 小口章治 課長補佐 八木弘行 吉田康夫</p>
会内 議 容	<p>1. 協議事項 ・ 2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の策定について</p> <p>1. 報告事項 ・ 駅前地区総合再生会議、駅北地区活性化連絡会議の取り組みについて</p> <p>1. 委員からの連絡・報告事項</p>

小口課長の進行により開会。

小林会長より挨拶を行った後、新たに委員になられた方や人事異動等による交代された新委員並びにオブザーバーの紹介を行った。

§ 新たに委員となられた方

藤枝商工会議所商業振興委員長 佐藤正基、
地域振興委員会副委員長 寺島雅之、
商業振興委員会副委員長 梅津敏弘（委任状出席）

§ 人事異動による交代委員

藤枝市都市建設部長 池谷 朗、
藤枝市産業振興部長 村松一博

§ オブザーバー出席者

静岡県地域産業課長兼商業まちづくり室長 浅山 肇、
商業まちづくり室 主任 益田奈有美、
静岡県都市計画課 主任 丸山幸治、
中小企業基盤整備機構 高橋紗代

§ 代理出席

藤枝市観光協会事務局長 尾針周一、
しずてつジャストライン(株)営業課長 大越真吾、

次に、本日の協議会が成立していることを告げ、会議の議長を協議会規約に基づき小林会長に依頼し、会議に入った。

会議
の
経過

☆協議事項 2期藤枝市中心市街地活性化基本計画の策定について

藤枝市中心市街地活性化推進室 秋田室長より、
1期計画の検証を踏まえ、2期計画への4つの方向性（案）
（①活動・交流の促進、②広域拠点性の促進、③生活支援機能の強化、④環境、防災機能の強化）並びに2期計画策定に向けたスケジュール、2期計画策定および推進体制等について資料に基づき説明を行った。

小林会長より、質問・意見等を求めたところ、

（仲田委員）

街なかでの居住人口が増加し、区画整理等による街並みも整備されている中で「居住環境が不十分で満足度が低い」という課題抽出は意外であると思ったが、どういうことか。

（秋田中心市街地活性化推進室長）

中心市街地においては、人口が大幅に伸びている事は事実ですが、市民アンケートから、日常生活を支えている日用品の買物、福祉介護、医療といった生活を支える機能が十分ではないという結果、利便性の面で不足しているのではないかと分析している。

（佐藤委員）

1期計画の評価と課題の中で、歩行者通行量などの目標指標は、大幅に上回り達成見込と、にぎわいの実感が薄いという課題とは整合性がとれていないように思うが、歩行者数は、てーしゃばストリートイベントでの数値は、含まれているか。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

歩行者通行量は、全体として増加傾向だが地点別にみると駅南のB i V i・アピタ前は増加している。一方、駅前・スズビルの交差点では微減の状況である。

ご指摘の件については、交通量調査は、毎年2月の実施で、この時期でのイベントは開催されていないので含まれていない。

実感が薄いという事については、市民アンケートから商店街・個店への満足度が低く、結果的に、中心市街地に対する満足度が低いということで、市民感覚としての実感と商店街からの実態として経済の活力の向上に結びついていない点があげられる。

(佐藤委員)

1期目の検証・課題を十分踏まえて2期目の計画を示す事が大事なので、2期目の計画策定に活かしてもらいたい。

(安藤委員)

2期計画の想定事業に駅前地区の再開発事業があるが、(前回の協議会でもお願いしたが)文化センターのコミュニティ事業だけでなく、文化センター地区の再開発事業を盛り込むことを要望する。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

前回の協議会でもご意見を伺ったが、文化センター街区は、駅前地区市街地総合再生計画の中でも将来的には再開発の重点地区として位置付けており、順次開発を進めて行く中で現在、1丁目6街区の事業化を先行している。文化センター地区においては、昨年度まで商工会議所、まちづくり藤枝等において研究会を行っており、将来的な開発については、方向性として確認されているが、ただ箱モノを作るのではなく、実際の活用を実践的に生み出していくことが大事であると考えている。

従って、当面、文化センターをコミュニティ事業を中心に市民のまちづくりの拠点として活用していきながら、開発の必要性が求められれば考えて行きたいが、5カ年の中で事業着手ができるかどうかさらに検討を重ねていくが、まずは現状の施設を活用して拠点化を図る事から進めて行きたいと考えています。

(仲田委員)

少子高齢化は、避けて通れない社会情勢だが次期の中心市街地活性化計画の中で、高齢化社会に向け、どのように考えているか。

(秋田中心市街地活性化推進室長)

今回の方針の中に質の高い徒歩圏暮らしの実現として「安全・安心に生活が完結し、持続するまち」を目標に掲げており、生活支援、サービス充実を図られることが重要と考えている。

生活を支える機能を街なかに呼び戻していくことを検討していく。

そもそも、中心市街地の活性化は、子供からお年寄りまで歩いて暮らせる街ということが国の方針であるのでそれに沿って考えて行きたい。

小林議長よりその他質問・意見等を求めたところ、質疑もなく拍手を以て了承された。

☆報告事項 駅前地区総合再生会議、駅北地区活性化連絡会議の取り組みについて

藤枝市中心市街地活性化推進室渡邊係長より駅前地区総合再生会議、
(株)まちづくり藤枝秋原業務部長より駅北地区活性化連絡会議、
駅南地区活性化連絡会議の仲田代表より駅南地区活性化連絡会議について、

それぞれ取り組み状況を報告し、

さらに、藤枝市中心市街地活性化推進室渡邊係長より 2 期計画の主要事業である藤枝駅前一丁目 6 街区市街地再開発事業・藤枝駅南口開発 B 街区複合施設整備事業・藤枝駅前一丁目 8 街区市街地再開発事業の進捗並びに今後の予定等について報告を行い、引き続き、質疑応答を含め、委員からの連絡報告を伺った。

(佐藤：商工会議所商業振興委員長)

1 丁目 6 街区・8 街区等の再開発事業は、2 期目の計画に盛り込まれるのですか。

(秋田市中心市街地活性化推進室長)

再開発計画については、1 期目の計画の中でも盛り込まれており、権利者等の合意形成・事業化に向けた検討を進めてきた。今後は、具体的に都市計画の手続きを経て事業化を進めて行く段階になる。藤枝駅南口開発 B 街区複合施設整備の事業着手は、2 期計画の中でやっていきたいと考えている。ハード整備だけでなく目標に即した事業展開をしていきたい。

(佐藤委員)

1 丁目 6 街区・8 街区の再開発事業でも商業施設が計画されているが、B i V i の 1 F・2 F のテナント店の出入りの例もあり心配である。このことについてどの辺りまで検証しているか。

(秋田市中心市街地活性化推進室長)

B i V i については、民間企業なので個別に具体的な検証は行っていないが、事業者である大和リースから情報を提供してもらっている。それを踏まえて駅北地区の再開発の検討する上で、商業的な可能性についてマーケット調査等について経済産業省のアドバイザー派遣を受けながら検討をしている。結論から言うと商業機能を拡充していくことはむずかしいという方向性は出ており、商業施設にキーテナントを入れる事も難しい状況で国の方針としても身の丈に合った再開発事業を実施し、市場・経済環境に即した企業を入れて行く方向で考えている。

従って、住宅を中心とした再開発とし、生活を支える機能や一定の商業施設も入れて行くことを権利者と検討している。

(佐藤委員)

十分考慮し、検討してほしい。

この後、藤枝駅前商店街振興組合の北島理事から平成 22 年から実施された藤枝駅前通りの駐車規制緩和の効果検証の報告がなされた。

最後に、事務局から、6 月 21 日に開催する、「2 期目の中心市街地活性化計画の策定に向けた説明会」への参加案内および中小企業基盤整備機構が主催する「中心市街地活性化協議会のブロック交流会」が 9 月に藤枝で開催予定であることの報告を行った。

その他、小林会長から質問・ご意見等を求めたところ特になく、今後の協力をお願いし閉会した。